

# 岡田宮

(宝永4年) 1707年 貝原益軒書

第36号

平成15年11月吉日  
発行 岡田宮社務所  
北九州市八幡西区岡田町1番1号  
郵便番号 806-0033  
電話 (093) 621-1898  
FAX (093) 621-5330

## お正月

「明けましておめでとうございませう、年が明けると日本中がこの言葉に包まれます。そして、「おめでとう」と挨拶をされると、誰もが「おめでとう」と答える、これはお正月だけに見られる光景です。お正月という時季が、私たちの暮らしの中でどれほど特別なときであるのか、こうした慣習からもうかがえます。

古くから日本人は、稲作を中心とした生活を営んできました。春に蒔かれた籾は若々しい苗となり、初夏の田植えを経て力強く成長し、秋には黄金色の稲穂をたわわに実らせます。そして、冬になると米の一粒一粒に新しい生命を蓄えて、やがて巡りくる春を待つのです。私たちの祖先は、いつしかこの流れを「年(歳)」と呼ぶようになりました。お正月は、単に一年という時の流れの始まりではなく、農事を始める前に、その年が豊作でありますようにと神さまに祈願し、すべてのものを生み育むお力を授かることを祝う大切な神まつりでありました。

今日では、本来の意味は忘れられがちですが、お正月は神さまと人とを結びつけ、家庭の和を生み成す大切な伝統行事の一つなのです。

## お正月は歳神さまをお祀りする神事

「お正月さまござった、どこまでござった、〇〇までござった、……」というわらべ歌があります。この歌には、お正月の訪れをまだかまだかと指折り数えて待つ、心はずむ思いがこめられています。いまでもお正月は、子供たちにとって大きな楽しみのひとつでしょう。

ここにてでてる「お正月さま」とは「歳神さま」のことで、年の始めに家を訪れ、家族に幸福を授けてくださる神さまです。歳神さまは稲の魂であるとともに、祖先の御霊とも一体であるとの信仰があります。お正月にはご先祖さまが、私たちに幸せを授けに来てくださるという意味もあるようです。年末からお正月にかけて行われるさまざまな行事は、すべてこの歳神さまをお迎えし、お祀りするためのものなのです。

## 歳神さまをお迎えするため

年の暮れになると、どこの家庭でも大掃除をし、お正月を迎える準備をします。

大掃除のときには、神棚や御霊舎をきれいにし、「お神札も新しくします。玄関に注連飾りや門松を飾るのは、そこが清浄な場所であることを示すとともに、歳神さまが家にいらつしやるときの目印とするためです。そして、床の間には鏡餅を飾って、歳神さまにお供えします。

また、マンシヨンなどでお正月を迎える場合、「門松を飾る場所がない床の間がない」という方も多いのではないのでしょうか。このようなときには、市販の正月飾りを用いたり、筆筒や飾り棚の上に鏡餅をお供えするのもよいでしょう。

大切なことは、清々しい気持ちで迎春準備を整えながら、真心を尽くして神さまをお迎えするということです。



# 第9回 岡田神社書道展



岡田宮賞		総代会長賞	
小1 櫻井 永祥	小1 茂司亜梨紗	小1 櫻井 永祥	小1 茂司亜梨紗
小2 安西 萌木	小2 勇 大地	小2 安西 萌木	小2 勇 大地
小3 岩瀬 大輝	小3 三谷 結香	小3 岩瀬 大輝	小3 三谷 結香
小4 茂司 卓治	小4 勇 佑多	小4 茂司 卓治	小4 勇 佑多
小5 中山 愛夢	小5 細川 柚月	小5 中山 愛夢	小5 細川 柚月
小6 櫻井 加織	小6 今西 陽香	小6 櫻井 加織	小6 今西 陽香
中1 櫻井 嗣也	中1 中山 卓海	中1 櫻井 嗣也	中1 中山 卓海
中2 高崎百合絵	中3 中山 史蘭	中2 高崎百合絵	中3 中山 史蘭

●会期  
平成15年 7月23日(水)  
7月29日(火)

●表彰式  
平成15年 7月29日(火)  
於 岡山宮本殿

●総出品点数  
七八二点

幼 池田 由依	小3 竹内はづき
小1 大庭ほのか	小3 古賀 艶可
小2 末吉 優奈	小4 藤田 夏美
岡村 拓郎	小4 古川 翼
益本 大地	小4 浅倉 樹生
池田 菜々	小4 山田紗耶香
石谷 美緒	小4 勇 佑枝
山本 知佳	小4 田口 茂樹
桑田 涼可	小4 早田 茜
丹後 美幸	小4 柄原 大地
清水 由貴	小4 太田 裕介
中村 妃良	小4 佐藤早矢加
芹田 侑美	小4 山本 圭佑
讚井 志織	小4 太田百合子
中山 大夢	小5 山鹿 育恵
砂田 紫帆	小5 小野 夢菜
藺田 采依	小5 日高 真子
馬場 萌	小5 南 有紀
西口 映美	小5 久野優里子
	小5 原田 俊多



## 郷土地名考

(36)

### 八王寺 (はちおうじ)

宇佐八幡の神領は平安の頃、三国七郡・一万六千町に及んだという。戦国時代に大友氏が社殿を焼き神領を横領、その後秀吉の天下制覇に至って神領をことごとく没収した。八王寺もそのひとつ。中世文書にこの土地を譲渡したいきさつがあり、「一所八王子一反後田」と記載。も

中1 山鹿 千紘	中1 高橋 卓子
下司 佳奈	中1 木村 優里
川原 有紗	中1 櫻井 寛子
杉 香奈	中1 山内 真紀
安西 慎奈	中1 原野 靖子
井津 利貴	中2 遠藤 怜子
安藤 早紀	中2 馬場陵太郎
守永 彩夏	中2 江田 沙織
常廣みずき	中2 佐藤あす美
田中 利樺	中3 石橋 加菜
池田美和子	中3 後藤 桃華
吉岡 宏起	中3 魚住 美穂
黄栗あゆみ	中3 新田 和
山崎加帆里	中3 立橋沙也香
古原 和莉	中3 空閑 温子
白石麻菜美	中3 山鹿 晃平
鶴山 奈々	中3 鶴田 理紗
山内 真紀	中3 一田 聡子

ととは八王子である。八王子は天の安河原で天照大神と素戔鳴尊が誓(うけい)をして生んだ男子五人女子三人の子供。女の子の一人は宗像三女神に列している。東京都下八王子市の由来もこれによる。

小倉領であったが一九三五年(天正14)、企救郡板櫃村が小倉市に合併したとき八幡市に割譲された。

### 大谷 (おおたに)

地理地名、北九州道路大谷インターのループをぐるぐる回って降りると、なるほど大谷だと思ふ。八幡製鉄所の大谷球場、体育館、会館が集中している。起業祭は製鉄の創業記念日で、同時に殉職者慰霊祭も開く。

起業祭といえは昔からきまつてミソレか雪、いよいよ冬は本番である。大谷の起業祭は一九三三年(天正12)からだ、一九八七年から実行委員会形式で地元が主催することになった。



# 神社 なぜ なぜ 問答

(その36)



Q 神社で厄払いなどの御祈願を受ける際、「数え年」の年齢を聞かれますが、なぜなのでしょうが。

A 年齢の数え方には、お正月を迎える毎に一歳加える「数え年」と自分の誕生日毎に一歳の年齢を加へる「満年齢」があります。

神社で数え年を聞かれるのは、我が国では古来、お正月が各家庭で「年神さま」を迎えて、新たな年の五穀豊穡と家族の幸せを祈る大切な神事ですので、その時に合わせて家族皆が一歳づつ年をとる「数え年」が相応しいと考えられてきたからです。古来、日本には「零」の概念がなく、生まれた日が一歳で新年を迎えると二歳になりました。

「年齢」の数え方は、明治以降の近代法制度のもと次第に定着してきたものです。明治五年十一月九日の詔書により、これまで用いられてきた太陰太陽暦（旧暦）が太陽暦（新暦）に改められました。これは開国によって西欧諸国を中心とした諸外国との交流の機会が増え、当時広く世界に普及していた太陽暦（グレゴリオ暦）を使用する必要性が生じたためです。

また、時刻法も一日を十二支にあてて数える不定時制でしたが、新たに一日二十四時間の定時制に切り換えられるようになりました。こうしたことから、年齢の数え方も「数え年」から「満年齢」へと次第に変わっていったのです。

それまで伝統的な考え方によりおこなわれてきた「数え年」は、旧暦にあった年齢の数え方でした。旧暦は農事暦の側面もあり、自然の移り変わりを表したもので、稲作を中心とした我が国の生産活動に適した暦でした。

しかし、この暦は数年に一度、約一カ月間の誤差が生じてくるため、年によっては同じ月を二回重ねて、例えば五月が二回ある年を

後の月を閏五月と<sup>呼</sup>んで用いてきました。このやうに農耕には適する反面、数年に一度の閏月が生じるため、誕生日による「満年齢」の換算には適さないものでした。神社で、「数え年」を用いているのは、こうした日本の伝統的な考え方を今に継承するものであり、現在でも神道では「数え年」による数え方を尊重しているのです。

\*\*\*\*\*

## 社務所より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。神社本庁教学研究部の協力でお答えします。

なお質問は紙面の都合上、基礎的な質問に限らせていただきます。質問者名等は掲載いたしませんがお名前、御連絡先は忘れずにお願います。

## 岡田宮新役員

総代会理事 堀 盤助

# 平成十六年の厄年

## 厄年(男)

二十四才	前厄	昭和五十六年生
二十五才	大厄	五十五年生
二十六才	後厄	五十四年生
四十一才	前厄	三十九年生
四十二才	大厄	三十八年生
四十三才	後厄	三十七年生
六十才	前厄	二十年生
六十一才	大厄	十九年生
六十二才	後厄	十八年生

## 厄年(女)

十八才	前厄	昭和六十二年生
十九才	大厄	六十一年生
二十才	後厄	六十年生
三十二才	前厄	四十八年生
三十三才	大厄	四十七年生
三十四才	後厄	四十六年生
三十六才	前厄	四十四年生
三十七才	大厄	四十三年生
三十八才	後厄	四十二年生

## ◆厄年大祭

二月節分日

